

令和 2 年度  
 劇場・音楽堂等機能強化推進事業  
 (地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)  
 成果報告書

団 体 名	認定特定非営利活動法人あしづえ	
施 設 名	松江市八雲林間劇場 (しいの実シアター)	
助 成 対 象 活 動 名	公演事業・人材養成事業・普及啓発事業	
内定額(総額)	12,608	(千円)
公演事業	11,286	(千円)
人材養成事業	948	(千円)
普及啓発事業	374	(千円)

(1) 令和2年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	地域連携演劇公演	5/24～12/14 (中止) ※	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	目標値	310
		さなめホール他		実績値	—※
2	第7回松江・森の演劇祭	10/31～11/3 (中止) ※	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	目標値	12,000
		しいの実シアター他		実績値	—※
3	幼稚園・保育園・幼保園連携公演	6/11～12 (中止) ※	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	目標値	350
		しいの実シアター		実績値	—※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

## (2) 令和2年度実施事業一覧【人材養成事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	俳優養成のための短期創造講座	3/13~14※	講師：小林七緒	目標値	のべ 100
		しいの実シアター		実績値	のべ 60※
2	高校演劇部支援事業	3/20~21 (中止) ※	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	目標値	のべ 90
		しいの実シアター		実績値	—※
3	大学との連携	9/2~3/15※	講師：園山土筆、有田美由樹	目標値	のべ 772
		しいの実シアター		実績値	のべ 9※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(3) 令和2年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	しいの実シアター未来学校	8/6~8 (中止) ※	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	目標値	のべ 60
		しいの実シアター		実績値	—※
2	コミュニケーションワークショップ	8/26~10/17	講師 有田美由樹	目標値	のべ 116
		ビッグハート他		実績値	のべ 62

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

## 2. 自己評価

### (1) 妥当性

自己評価	
<p>社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。</p>	
<p>【ミッション】</p> <p>以下の通り、3つのミッション毎に事業を組み立てたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、いくつか事業は中止となった。</p>	
ミッション	事業
<p>「共に夢を育てる劇場」 どこにもない国際演劇祭を創り育てる</p>	<p>第7回松江・森の演劇祭 ※中止</p>
<p>「共に考え行動する劇場」 アートの力で劇場や地域課題解決の扉を押し開く</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携演劇公演 ※中止</li> <li>・幼稚園・保育園・幼保園連携公演 ※中止</li> <li>・大学との連携</li> <li>・しいの実シアター未来学校 ※中止</li> <li>・コミュニケーションワークショップ</li> </ul>
<p>「共に育ち合う劇場」劇場スタッフ・専属劇団・ 松江市行政が地域の人々を巻き込んで</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・俳優養成のための短期創造講座</li> <li>・高校演劇部支援事業 ※中止</li> </ul>
<p>【地域の特性】</p> <p>「劇場と国際演劇祭への理解が進み、『森の演劇ゾーン』づくりに夢を持っている」</p>	
<p>劇場への理解が進む事業としての位置付け</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学との連携</li> <li>・しいの実シアター未来学校 ※中止</li> <li>・コミュニケーションワークショップ</li> <li>・しいの実シアター未来学校 ※中止</li> <li>・コミュニケーションワークショップ</li> </ul>
<p>『森の劇場ゾーン』に係る事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第7回松江・森の演劇祭 ※中止</li> <li>・地域連携演劇公演 ※中止</li> <li>・幼稚園・保育園・幼保園連携公演 ※中止</li> </ul>
<p>助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。</p>	
<p>【社会的意義】</p> <p>『コミュニケーションワークショップ』では、児童センター、島根県看護協会、島根県社会福祉協議会それぞれ連携し、各団体が解決したい課題に対し、演劇を使ったワークショップで解決を図った。講師は、劇場専属劇団員が行った。</p>	
<p>【文化的意義】</p> <p>『俳優養成のための短期創造講座』では、当地の演劇活動者と県外の俳優と一緒に参加したため、お互いに刺激し合い、学びが深まった。更に、この講座を契機に新たに演劇を始めたいという才能ある人材を発掘することができた。</p>	

## (2) 有効性

### 自己評価

目標を達成したか。

#### 【俳優養成のための短期創造講座】

##### ●参加者数<目標達成>

	回数	参加者数
当初予定	8回	のべ100人
実績	2回 ※	のべ60人

新型コロナウイルス感染症の影響で8回の計画が2回しか実行出来なかったが、目標よりも多くの参加者を得られた。更に、以下の通り、全国各地からの参加となった。島根県14人（松江市10人、出雲市1人、大田市1人、津和野町1人、隠岐の島町1人）、東京都7人、福岡県4人、鳥取県2人、兵庫県1人、滋賀県1人、埼玉県1人。

##### ●演劇経験の浅い人材と経験豊富な人材と一緒に演劇作品の一部を創造する。経験の浅い人材の能力の底上げを図る。<目標達成>

経験年数の差だけでなく活動地域も様々な参加者が集まった。能力だけでなく、演劇に対する心構えや生き方など、参加者の今後の演劇人生に影響を与える講座となった。

#### 【大学との連携】

##### ●劇場経営に興味関心をもつ人材が増える<目標達成>

インターンシップ生は、今後もボランティアやアルバイトとして劇場運営に参加することになったため、目標は達成された。

#### 【コミュニケーションワークショップ】

##### ●演劇の力を使ったワークショップを体験することで、劇場に足を運ばない層にアートの有用性を感じてもらう

##### <目標達成>

0歳児の母子、デイサービス利用者、小学生、若手の助産師と保育士といった、自力で劇場に足を運びづらい層に向けてワークショップを実施できた。アートの有用性を感じていたのは、参加者以上に、共催者の松江市社会福祉協議会、(公社)島根県看護協会、(社福)島根県社会福祉協議会である。次年度の継続も決まっている。

##### ●実施後に団体代表者や事業担当者にヒアリングし、日常では見られない反応が見られたことを目標とする

##### <目標達成>

0歳児の母子とデイサービス利用の高齢者対象のワークショップでは、自分の投げかけに反応があることで、少しずつお互いに親しみがもてるようになり、気持ちの変化が見られた。

助産師と保育士のワークショップでは、マスクをして表情が分からないと患者や子どもたちは相手の感情が分からないということも自覚できた。伝え方の工夫が必要なこと、積極的に自ら働きかける必要性に気付くことができた。参加者の表情も和らぎ、参加者同士のコミュニケーションも良くなった。

### (3) 効率性

#### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

#### 【事業期間】

新型コロナウイルス感染症の影響で、延期を繰り返しながら、実施できる方策を探して行った。

	当初計画	実績	実施方法
俳優養成短期講座	7月～3月 全8回	3/13・3/14 全2回	最終回のみ実施
大学との連携	4月～3月 全29回	9/2～9/5、3/11～3/15 全9回	大学への講師派遣は中止で、インターンシップのみ実施
コミュニケーション	5月～2月 全4回	8/26・9/5・10/7・10/17 全4回	時期を夏以降にずらして行った

#### 【収支状況】 <変更部分を除き計画通り>

	収入		支出		変更点
	予算	決算	予算	決算	
俳優養成短期講座	0円	0円	1,083,000円	683,760円	8回予定→2回
大学との連携	0円	0円	1,002,000円	182,500円	大学への講師派遣19回が中止
コミュニケーション	25,000円	39,853円	332,000円	164,230円	講師2名→1名

新型コロナウイルス感染症の影響で、事業が一部中止になり、支出額は変わっているが、変更に沿った額となっている。

#### 【参加者数】 <変更部分を除き計画通り>

	計画	実績	変更点
俳優養成短期講座	のべ100人	のべ60人	8回予定→2回
大学との連携	のべ772人	のべ9人	大学への講師派遣19回が中止
コミュニケーション	のべ116人	のべ62人	密を避けるため参加人数を制限

新型コロナウイルス感染症の影響で、変更せざるを得なかったが、変更に沿った人数になっている。

#### 【全体初見】

新型コロナウイルス感染症の影響で、事業の延期や中止、縮小が相次いだため、当初予定を変更に沿って修正し、実施した。

## (4) 創造性

### 自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

#### 芸術監督 園山土筆

1966年に劇団あしぶえを立ち上げ、55年間、代表・演出として活動している。また、1995年に完成した当劇場には設計・建築から係わり、以降26年間、芸術監督として劇場運営を行っている。地域における劇場の在り方を全国発信し、鳥根県文化功労者表彰、山陰中央新報社『地域開発賞・文化賞』、ソロプチミスト日本財団『社会貢献賞』を受賞している。2018年は、文化庁主催『カルチャーニッポン シンポジウム』にパネリストとして参加。令和3年度制定予定の『松江市文化・芸術振興条例』の制定委員をつとめている。

#### 専属団体 劇団あしぶえ

1966年に設立され55年間継続して活動している。国際交流基金『地域交流振興賞』（現・地域市民賞）、サントリー文化財団『サントリー地域文化賞』、山陰信販株式会社『山陰信販地域文化賞』、中国新聞社『中国文化賞』、文部省『地域文化功労者文部大臣表彰』、鳥根県『鳥根県文化奨励賞』を受賞し、文化芸術の力で地域振興をけん引している劇団である。海外公演も多く、アメリカ国際地域演劇祭、カナダリバプール国際演劇祭、カナダ2003世界演劇会議・フェスティバル、ブルガリアにて上演。代表作『ゼロ弾きのゴーシュ』は多言語上演が可能で、日本語+英語バージョン、日本語+ブルガリア語バージョンの実績がある。

#### 講師 小林七緒

1998年より流山児★事務所に参加。2000年9月より1年間、文化庁在外研修員としてカナダ留学。帰国後『若手演出家コンクール2001』で最優秀演出家賞を受賞。主な演出作品に『ヘレンの首飾り』『7ストーリーズ』『橋を渡ったら、泣け』など。一般社団法人日本演出家協会理事。新国立劇場演劇研修所・バレエ研修所非常勤講師。都立蔵合芸術高校非常勤講師。

#### 講師 有田美由樹

障害児、健常児の保育士として28年間の実績がある。1983年に劇団あしぶえに所属し、38年間俳優として活動している。劇団あしぶえの全ての海外公演に出演している。1999年からコミュニケーションワークショップ講師として22年間活動している。



## 自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

### 人材養成事業 1. 俳優養成のための短期創造講座

地域の演劇人から、地方で本格的に演劇を学ぶ場が少ないという声を受け実施。参加した高校生や、子どもたちの演劇指導者から、講師の実施したワークショップを自分達でもやってみたいと声があがっており、当地の演劇のレベルアップに繋がった。

### 人材養成事業 2. 大学との連携

将来、劇場で働きたいという学生のため、インターンシップを実施。座学と実際の業務を一緒に行う体験も組み込んだ。更に、専属劇団員やボランティアとの交流や、アウトリーチ活動にも参加した。参加者は、今後もボランティアやアルバイトとして劇場運営に関わることになっている。

### 啓発事業 2. コミュニケーションワークショップ

松江市社会福祉協議会、(公社) 島根県看護協会、(社福) 島根県社会福祉協議会との連携で事業を実施。

松江市社会福祉協議会からは、孤立しがちな在宅母子と高齢者が、地域社会との繋がりを感じられるようにしたいという相談がありワークショップを実施。0歳児を間にはさみ、母親と高齢者が笑い合うことで、母親は子どもを地域社会で育ててもらおうという広い視野をもつことができ、高齢者は地域の役にたつ喜びを感じることができた。

更に、学童保育において学年間の交流が進まないという相談を受け、学年の垣根を超えたワークショップを実施した。これにより、同じ学童保育のメンバーの仲間意識が高まった。

(公社) 島根県看護協会からは、勤務地の違う新任助産師同士が横の繋がりを感じられるようにしたいと相談があり実施。勤務では間違いが許されない参加者が、シアターゲームを通じて失敗を笑い合うことで肩の力が抜け、その後の研修でも交流することができた。

(社福) 島根県社会福祉協議会からは、新任保育士の離職率の高さを相談され実施。自身の考えや気持ちを表現するワークショップを行うことで、自分から伝えていく重要性を体験させていった。職場での課題を共有するなど、誰にも言えず抱えている問題の解決の糸口をつかむことができた。

全ての事業において連携団体からの評価は高く、来年度以降も継続実施を依頼されている。



## (5) 持続性

### 自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

#### Plan

事業運営	地域の課題、国内演劇の課題を解決する事業を計画。地域の課題は、地元団体や鳥根県立大学、小学校などからヒアリングし、国内演劇の課題は、新国立劇場演劇研修所や海外劇団にヒアリングを行った。
経営戦略	事業を実施するためのファンドレイジング（主に少額寄付金）計画。
人事戦略	舞台技術スタッフは、経験豊富な外部専門団体と契約し、専属劇団員の人材養成を行っていく。 組織運営に有効と思われる研修は、都合のつく職員全員で参加する。
ネットワーク	他館〈さなめホール〉、教育団体〈鳥根県立大学、松江市内高等学校7校〉、福祉団体〈松江市社会福祉協議会、(社福)鳥根県社会福祉協議会、医療団体〈(公社)鳥根県看護協会〉と連携して事業実施。

#### Do

目的に沿って計画実施。その時の環境によって計画のままでは目的を達しない場合は、年度途中でも都度計画を見直していく。

#### Action

改善が必要な点は、ふりかえり会の場で改善提案を決め、後でふりかえり会の場にいなかった者が読んでも分かるようにまとめて文書に残す。次年度事業に関わる内容は即座に反映させるが、次年度事業に関りがない内容も数年後に見返すことができるようにしておく。

#### Check

事業運営	事業実施後にオフィスメンバー、専属劇団それぞれでふりかえり会を実施。更に外部の有識者を招へいし、意見交換を行う。
経営戦略	執行状況を毎月の理事会で確認。
人事戦略	専属劇団でふりかえり会実施。更に外部の専門家に専属劇団の養成状況をヒアリング。 研修参加後は、職員全員でふりかえり会を実施し、学びを定着させると共に参加できなかった職員とも内容を共有する。
ネットワーク	連携団体に実施後ヒアリングをし、その内容を踏まえてオフィスメンバー、専属劇団それぞれでふりかえり会を実施。